

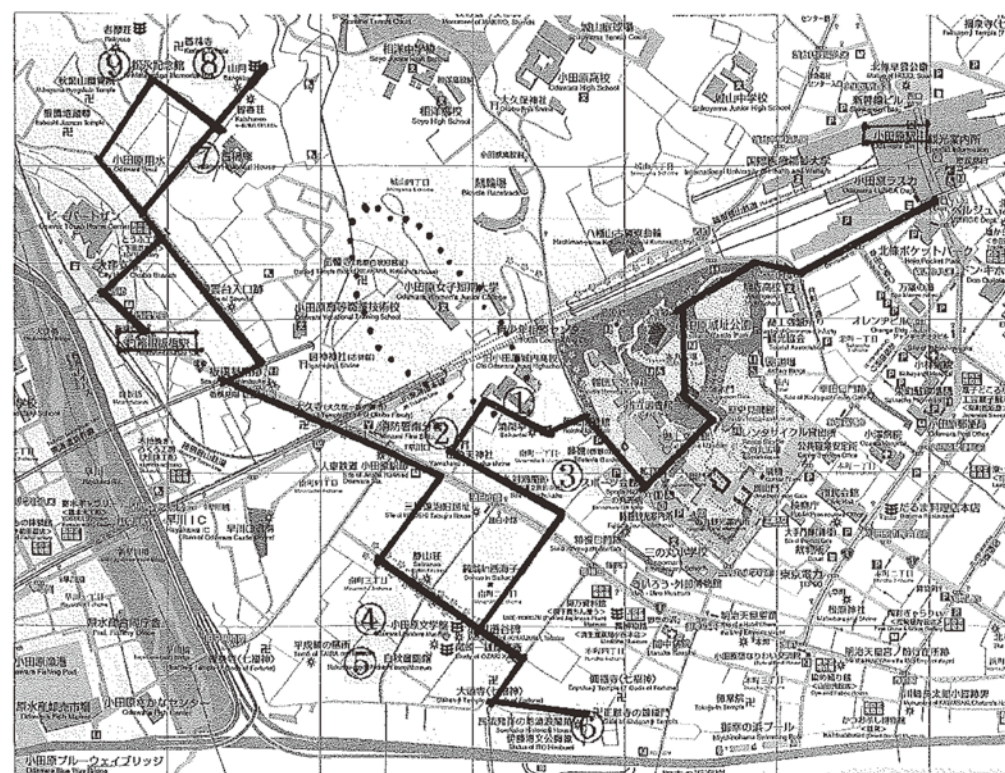
出発：小田原駅

作成：県西支部 芝 京子

町並み散策ぶらり in 神奈川

近代日本黎明期の偉人達
～小田原市周辺～

かつて小田原に近代日本の礎を築いた人々が居を構えていた。維新後の日本に民主主義を根付かせた政治家、国防に生涯を捧げた軍人、さりげない自然の営みを詠んだ詩人、文化人、風流を極め人々をもてなした茶人、経済人。誰もがこの地の温暖な気候風土を愛し、上質な生活を営んだ。いつの時代にも数多くの物語があるこの小田原。その物語に思いを馳せ、人物ゆかりのこの地をゆっくりと歩いてください。



1 清閑邸(南町一丁目)

黒田 長茂 くろだ ながしげ



(写真提供 国立国会図書館)

貴族院副議長として30年間勤務。国登録有形文化財。対潮閣と閑院宮御別邸の中間に隣接した現在、NPO法人が周辺地域の邸園交流の拠点として活用している。
1906年(明治39年)建築



2 山角天神社(南町一丁目)

瓜生坂(南町一丁目)

うりう そときち



(写真提供 瓜生家)

秋山真之らとともに日露戦争に参戦。境内に、瓜生の胸像が立つ。
瓜生邸に通じた坂道が現在も残る。



5 白秋童謡館(南町二丁目)

田中 光顕 たなか みつあき



(写真提供 多摩市教育委員会)

現小田原文学館に隣接する大正モダン調の和風建築。田中光顕の別邸として建てられた。
1924年(大正13年)建築



6 滄浪閣跡(本町四丁目)

伊藤 博文 いとう ひろぶみ



(写真提供 国立国会図書館)

小田原で民法を起草。伊藤が穂積陳重らと民法を起草したこと、民法発祥の地とされる。
建物は小田原海嘯で流失した(明治35年)現在民地内に胸像が立つ。
1890年(明治23年)建築

9 松永記念館(板橋)

松永 安左エ門 まつながやすざえもん



電力王と呼ばれた茶人松永が収集した古美術品を一般公開するために財団法人を創立して記念館を建設。のちに敷地と建物は市に寄付された。
居宅・老樗荘は国登録有形文化財
1959年(昭和34年)建築



参考 閑院宮御別邸後(南町一丁目)

閑院宮載仁親王

かんいんのみやことひとしんのう



御別邸は旧小田原城内高校からアジアセンター跡地にかけての広大な敷地を有していた。(点線部分)閑院宮載仁親王は日露戦争で秋山良古とともに騎兵旅団を率いた。

自身の童謡作品のうち約半数を小田原で創作した国民的詩人・童謡作家

きたはら はくしゅう

北原 白秋 1885年-1942年

伝肇寺境内・「木兎の家」跡(城山四丁目)

白秋の自宅は、関東大震災で半壊した。今は、白秋が心ひかれた梅の老樹と榎(かや)の大樹、「赤い鳥小鳥」の碑などが、わずかなよすがとなっている。



1400m 200m 60m 500m 400m 2350m 300m 190m 650m
小田原駅 ⇒ ① ⇒ ② ⇒ ③ ⇒ ④ ⑤ ⇒ ⑥ ⇒ ⑦ ⇒ ⑧ ⇒ ⑨ ⇒ 箱根板橋駅
20分 6分 1分 8分 5分 35分 1分 3分 10分

4 小田原文学館(南町二丁目)

田中 光顕 たなか みつあき

龍馬暗殺現場に駆けつけた幕末の志士。昭和12年建築の洋館は、当時流行した南欧風の建築。



8 山月(板橋)

大倉 喜八郎 おおくらきはちろう

旧大倉男爵別邸。大正9年大倉財閥設立者の避暑のための別荘として建造され、現在料理店として活用されている。



到着：箱根板橋駅

●見学時間は含みません。

あくまで参考です。

約1時間30分 距離5.78km